

(別添) 家庭用品に係る健康被害の年次とりまとめ報告の概要

従来、モニター病院の医師が家庭用品等による健康被害と考える事例や、公益財団法人 日本中毒情報センターが収集した家庭用品等による吸入事故等と考えられる事例について、それぞれ厚生労働省に報告されたものを取りまとめ、公表してきました。

令和元年度より、枠組みを変更し化学的健康被害症例対応システムとして運用を行っています。具体的には、消費者製品の個々の健康被害症例（事例）における化学物質の影響（関連）をより的確に評価するため、必要に応じ有識者の意見を聴くなど、原因の究明や対策の検討に重点を置くこととし、誤飲等の主に使用者側の要因による事故情報は収集・集計、分析の対象とはしないものの、個々の事例の重大性に応じて注意喚起等の対応を適時行うこととしています。

本報告は、一般社団法人 皮膚安全性症例情報ネット及び公益財団法人 日本中毒情報センターの協力を得て家庭用品による健康被害の情報を収集し、それらの情報をとりまとめているものです。「皮膚障害」及び「吸入事故等」の2分野に関する報告で構成されており、それぞれの概要を以下に示します。

1. 家庭用品に係る皮膚障害に関する報告の概要

○報告内容の概要を以下に示します。

- ・ 家庭用品による皮膚障害の報告全数は81件でした。
- ・ 報告件数で多かった家庭用品は上から順に、マスク（34件）*、ネックレス（5件）、ピアス（4件）、家庭用手袋（天然ゴム）（4件）でした。
- ・ 性別は、女性が68例（84.0%）と大半を占めました。
- ・ 皮膚障害の種類は、「アレルギー性接触皮膚炎」37件（45.7%）と「刺激性接触皮膚炎」21件（25.9%）がほとんどを占めました。

*マスクが皮膚にあたる部分との摩擦やマスク内の蒸れが原因となる非アレルギー性の刺激性接触皮膚炎を含む。

○報告件数の詳細を以下に示します。（表1）

表1 2020年度・家庭用品による皮膚障害の報告全数

2020年度			
家庭用品	件数	家庭用品	件数
マスク	34	家庭用手袋（合成ゴム）	1
ネックレス	5	除菌剤（首から下げるタイプ）	1
ピアス	4	鼻パット	1
家庭用手袋（天然ゴム）	4	コンタクト用液	1
家庭用手袋（その他）	3	ひげ剃り	1
食器用洗剤	3	化粧用スポンジ・パフ	1
指輪	3	ダイエット器具	1
ビューラー	3	ボタン	1
除菌剤（手指）	2	ベルト	1
靴	2	タイツ	1
寝具	2	タック名札	1
腕時計	2	玩具	1
つけまつげ接着剤	2	総数	81

2. 家庭用品に係る吸入事故等に関する報告の概要

○報告内容の概要を以下に示します。

- ・ 家庭用品による吸入事故等の報告全数は 125 件でした。
- ・ 報告件数で多かった家庭用品は上から順に、除菌剤 (42 件)、洗淨剤 (住宅用・家具用) (19 件)、殺虫剤 (14 件)、漂白剤 (10 件) でした。
- ・ 性別は、女性が 94 例 (75.2%) と大半を占めました。

○報告件数の詳細を以下に示します。(表 2)

表 2 2020 年度・家庭用品による吸入事故等の報告全数

2020年度	
家庭用品	件数
除菌剤	42
洗淨剤(住宅用・家具用)	19
殺虫剤	14
漂白剤	10
防カビ剤	8
芳香・消臭・脱臭剤	4
忌避剤	4
洗剤(洗濯用・台所用)	4
防虫剤	3
防水スプレー	3
潤滑剤	2
線香	1
塗料	1
木材防腐剤	1
洗濯仕上げ剤	1
その他の家庭用品	8
総数	125